

## (株)日本フードエコロジーセンター及びさがみはらバイオガスパワー(株) とSDGsの推進に向けた連携協定を締結します！

このたび、株式会社日本フードエコロジーセンター及びさがみはらバイオガスパワー株式会社と、SDGsの目指す誰一人取り残さない持続可能な地域社会を実現することを目的に、SDGsの推進に向けた連携協定を締結いたします。締結に伴い、協定式を開催いたしますので、お知らせします。

### 1 協定締結式について

日時 令和5年11月8日(水) 15:30~16:00

場所 さがみはらバイオガスパワー(株) 工場内(相模原市中央区田名塩田1-16-14)

出席者 株式会社日本フードエコロジーセンター及び、

さがみはらバイオガスパワー株式会社 代表取締役 高橋 巧一 氏

相模原市長 本村 賢太郎

※同日に開催される、さがみはらバイオガスパワー(株)  
の開所式内で協定式を行います。



さがみはらバイオガスパワー(株)

### 2 主な連携事項

- (1) SDGsの普及啓発に関すること
- (2) 循環型社会の推進に関すること
- (3) 脱炭素社会の推進に関すること
- (4) 持続可能な社会の担い手の育成に関すること
- (5) 災害対策に関すること

### 3 協定締結先の概要について

#### ○ 株式会社日本フードエコロジーセンターについて

食品製造事業者等から食品廃棄物を受け入れ、独自の発酵技術によりリキッド発酵飼料を製造し、養豚事業者へ提供。当該飼料で育った豚をブランド化し、販売することで食の「リサイクルループ」を構築。第2回ジャパンSDGsアワード最優秀賞を受賞。

#### ○ さがみはらバイオガスパワー株式会社について

飼料化に向かない食品廃棄物を原料として、メタン発酵によってバイオガスを発生させ、ガス発電を行い、固定価格買取制度(FIT)を活用した売電事業を実施。さらに発酵後の消化液を活用するため、固液分離後、廃熱等で乾燥し、肥料原料を製造。

※隣接する上記2社において、地域の食品廃棄物を受け入れて「飼料化」「肥料化」「エネルギー化」を同時におこなうことができる、国内初のカスケード利用型リサイクル施設となります。